



総務省人材力活性化研究会
地域をつくる！ひとをつくる！
—地域・大学連携の可能性—

2010年12月10日

慶應義塾大学総合政策学部 准教授
慶應義塾大学SFC研究所地域情報化研究コンソーシアム 代表
NPO法人鳳雛塾 副理事長(ファウンダー)

いさがいよしのり
飯盛義徳、MBA、Ph.D.

isagai@sfc.keio.ac.jp
<http://Isagai.sfc.keio.ac.jp>



KEIO 150
Design the Future





自己紹介



自己紹介



自己紹介

- 飯盛義徳(いさがいよしのり)、博士(経営学)
 - 慶應義塾大学総合政策学部 准教授 兼 政策・メディア研究科委員
 - 東京大学、佐賀大学、東北公益文科大学などの非常勤講師
 - 総務省過疎問題懇談会委員、総務省地域力創造有識者会議委員、総務省地域情報化アドバイザー委員、総務省地域づくり懇談会委員、総務省人材力活性化研究会座長、長崎県総合計画懇話会委員など
 - NPO法人鳳雛塾 副理事長(ファウンダー)
- 略歴
 - 1964年 佐賀市生まれ
 - 1983年 長崎私立青雲高等学校卒業
 - 1987年 上智大学文学部卒業(体育会陸上競技部副将、体育会本部情宣部長)
 - 1987年 松下電器産業(株)入社。富士通(株)出向などを経て、国際商事本部にて海外ITベンチャー企業のシステム輸入開発事業に従事
 - 1992年 慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程入学
 - 1994年 同校修了後、飯盛教材株式会社入社
 - 1997年 常務取締役就任
 - 1999年 佐賀大学理工学部寄附講座客員助教授
 - 1999年 アントルプレナー育成スクール「鳳雛塾」設立
 - 2001年 (有)EtherGuy設立、代表取締役
 - 2002年 慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士課程入学
 - 2005年 同校修了後、慶應義塾大学環境情報学部専任講師就任
 - 2008年 慶應義塾大学総合政策学部准教授就任



Yoshinori Isagai



担当授業

- 新事業創造ワークショップ (GC科目)
- 地域情報化論 (大学院) (e科目)
- まちづくり論 (GC科目、iTuneU科目)
- 地域協働とフィールドワーク
- ファミリービジネス論 (大学院) (e科目)
- 研究会A
- 卒業制作
- 大学院プロジェクト
- 博士特別研究





飯盛義徳研究会の活動

地域の元気の処方箋を探究

地域情報化

伝統産業

農業・食料

商店街

ファミリービジネス

...

ひとづくり＋経営学の視点



取り組んでいる研究

■ テーマ

- 地域のつながり形成、地域資源の展開メカニズム
- ファミリービジネスにおけるイノベーション過程
- 社会科学におけるアクションリサーチの方法論

■ 論文、書籍（地域づくり関係の主なもの）

- 『元気村はこう創る』日本経済新聞社、2007年。
- 「地域のつながりを取り戻す」国際大学グローバル・コミュニケーション・センター『智場』No.111、2008年4月。
- 「情報技術で地域を拓く」『日経ネット時評』2008年12月。
- 「ひとづくりとまちづくり」『三田評論』2009年3月号。
- 「地域再生とひとづくり」三菱UFJリサーチ&コンサルティング『季刊 政策・経営研究』2009 No.2、2009年5月。
- 『ケース・ブックⅣ 社会イノベーター』慶應義塾大学出版会、2009年。





推進研究プロジェクト(一部)

- 高校生のアントルプレナー育成(VITA+)
 - 佐賀、高知、和歌山、藤沢などでの実践
- ファミリービジネス
 - 本坊酒造、タキヒヨー、にんべん、法師などの事例研究
 - 福井などでの人材育成講座
- 地域再生
 - 高知県、福岡県、長崎県などの活性化
- 地域活性化と人材育成
 - 地域資源をテーマとしたケース教材開発、人材育成講座
- 地域情報化
 - CANフォーラム、地域情報化研究コンソーシアムの運営
- 鳳雛塾
 - 藤沢、横浜、埼玉での実践、運営支援
- インターネット市民塾
 - SFC市民塾のコンテンツ開発、学びの共同体形成



私の実践(ご参考)



概要

- 設立：1999年（2005年7月NPO化）
 - 理事長：指山弘養（佐賀銀行会長）
 - 副理事長：飯盛義徳（ファウンダー）
 - 事務局長：横尾敏史（佐賀銀行）
- ミッション：鳳雛（未来の英雄）を育む
- 塾生：約350名（2009年度まで）
- 運営
 - スタッフ：専任講師2名、助手1名、事務局1名
 - 年間運営予算：約30万円
 - 2005年度から2007年度まで1200万円の助成（経済産業省）
 - 年間約16回（月に2回）の授業
 - 年間受講料：社会人1万円、学生5千円



特徴

■ ケースメソッドの導入

- ケース教材の独自開発

■ オープンポリシー

- 多彩な方々が机を並べて議論
 - ・ 若手企業家だけでなく、行政、教員、議員、マスコミ、高校生も参加
 - ・ 毎回OBや塾生の知り合いが参加
- 授業後は必ず交流会（佐賀銀行社員食堂など）

■ 情報技術の積極的利用

- ネットで連絡、課題、議論、教材提供
 - ・ 授業の映像（一部）も公開
- 遠隔授業の実践（2002年度から月に1回）
 - ・ IPv6、JGNを活用した遠隔授業など



ケース教材の自作

- 地元企業事例を中心とした教材を10部開発
 - 希少な地方企業、創業事例
 - 4部は映像付デジタル教材として公開





授業の様子





成果

- ベンチャー、NPO起業など
 - 佐賀県産業ビジネス大賞受賞
 - 中小企業創造活動促進法認定
 - NPO起業
 - 衆議院議員当選
- 情報技術（Gigaビットネットワーク、IPv6など）研究
- 新事業、他地域への広がり
 - 小学生から高校生向けのアントルプレナー教育（キャリア教育事業）など
 - 富山、藤沢、石川、丹波、横浜、埼玉などに伝播
 - 大学教育への広がり

★2003年日経地域情報化大賞日本経済新聞社賞受賞

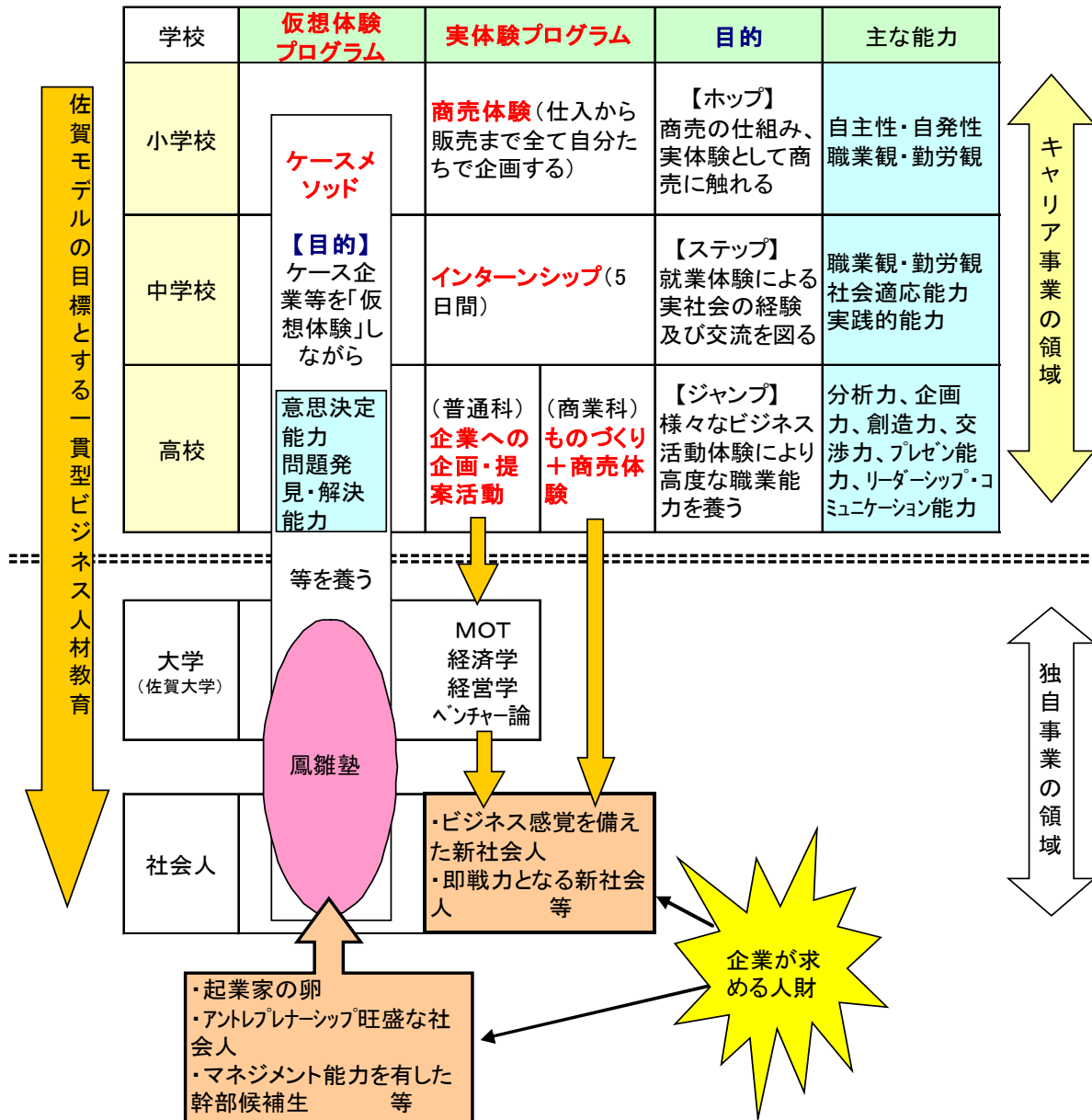


キャリア教育事業





鳳雛塾の方向性





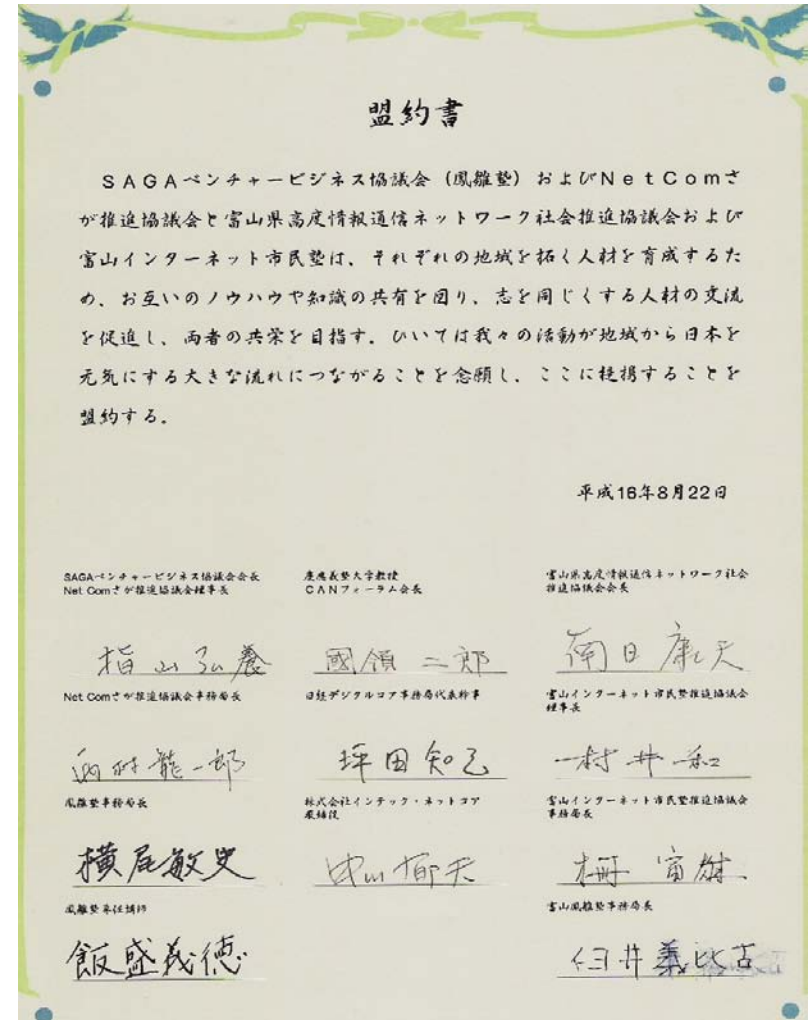
各地への広がり

- 富山と越肥同盟締結（2004年8月）
 - インターネット市民塾のノウハウ共有
 - 富山鳳雛塾設立（鳳雛塾のノウハウ共有）
 - 富山の企業のケース教材開発、共有
- 藤沢鳳雛塾の設立（2005年度）
- 東峰村鳳雛塾の設立（2006年度）
- 丹波鳳雛塾、横浜鳳雛塾の設立（2008年度）
- 埼玉鳳雛塾の設立（2009年度）

各地域との教材共有や遠隔授業など資源共有の推進



越肥同盟の締結



盟約書

SAGAベンチャービジネス協議会（鳳雛塾）およびNet Comが推進協議会と富山県高度情報通信ネットワーク社会推進協議会および富山インターネット市民塾は、それぞれの地域を拓く人材を育成するため、お互いのノウハウや知識の共有を図り、志を同じくする人材の交流を促進し、両者の共栄を目指す。ひいては我々の活動が地域から日本と元気にする大きな流れにつながることを念願し、ここに提携することを盟約する。

平成18年8月22日

SAGAベンチャービジネス協議会会長
Net Comが推進協議会理事長

慶應義塾大学教授
CANフェーラム会長

富山県高度情報通信ネットワーク社会
推進協議会会長

指山弘養
Net Comが推進協議会事務局長

國領 二郎
日経デジタルコア事務局代表幹事

南日康夫
富山インターネット市民塾推進協議会
理事長

酒村龍一郎
鳳雛塾事務局長

坪田知己
株式会社インテック・ネットワーク
取締役

一村井 和
富山インターネット市民塾推進協議会
事務局長

横尾敏史
鳳雛塾主任講師

中川 郁夫
富山インターネット市民塾
理事長

榎 富雄
富山鳳雛塾事務局長

飯盛義徳

臼井 義比古



藤沢、横浜、埼玉鳳雛塾など





大学の研究プロジェクトへの広がり

- 高校生のためのアントルプレナーシップ育成プロジェクトVITA+設立（佐賀、高知、和歌山など）





資源のもやり(リソース・シェアリング)



銀行



受講生



行政



事務局・サーバ



鳳雛塾



助成・通信インフラ



オフィス



技術者・通信インフラ



大学、教育機関



地域・大学連携事例



慶應SFCの取り組み

- 各研究会ごと(もしくは合同)のフィールドワーク
 - 単位認定も可
- SFC政策研究支援機構
 - 慶應義塾卒業生の基金による、学生フィールドワークへの助成
 - <http://amirai.sfc.keio.ac.jp/>
- スタディツアー
 - 学生支援GP「慶應卒業生と連携した地域協働型政策研究支援-フィールドワークと地域協働型政策研究支援プログラム-」の実施
 - <http://ssgp.sfc.keio.ac.jp/>



紹介する事例

■ 福岡県東峰村

- 学生たちが地域に赴き、地域のつながりをつくり、リーダーを育成するプロジェクト活動を実践（飯盛義徳）

■ 長崎県各地（新上五島町）

- 連携協力協定を締結し、地域の問題発見、解決のための研究プロジェクトを実践、提言作成（玉村雅敏准教授、古谷知之准教授、飯盛義徳）

■ 高知県各地（奈半利町）

- 合宿を通じて、地域の問題発見、解決のための活動を実施、提言発表（飯盛義徳）

■ 福岡県八女市

- 合宿を通じて、地域の問題発見、解決のための提言発表。今後、地域のつながりを再構築するためのプロジェクトに発展（飯盛義徳）



大学から見た地域・大学連携

<p>大学祭、イベントなど</p>	<p>活動あり</p> <p>スタディツアー、 地域連携合宿など</p>
<p>大学内</p> <p>地域の人々による講演、 公開講座、共同研究など</p>	<p>大学外</p> <p>地域研究、 教員による講演など</p> <p>活動なし</p>



福岡県東峰村



プロジェクト概要

- 情報技術を活用して、地域活性化を図る場合、地域の資源を見出し、発信し、地域を盛り上げていくことのできるリーダー（プロデューサー）、切磋琢磨できるコミュニティ形成が不可欠
- 評価があり、各地に伝播している以下のプロジェクトを実践
 - **住民ディレクター**（映像制作プロセスを通じた総合的な企画力の養成）
 - **インターネット市民塾**（いつでも、どこでも、だれでも講師、受講生になれる学びの共同体）
 - **鳳雛塾**（地域をテーマにした教材を活用したディスカッション教育による戦略的思考の涵養）
- 作成されたコンテンツは、外部に発信し、東峰村のファンを増やしていく活動に利活用
- このプロジェクトで得られた資産（人的ネットワークや資源の確認、情報技術の利活用方法など）は、次年度以降の活動にも有効

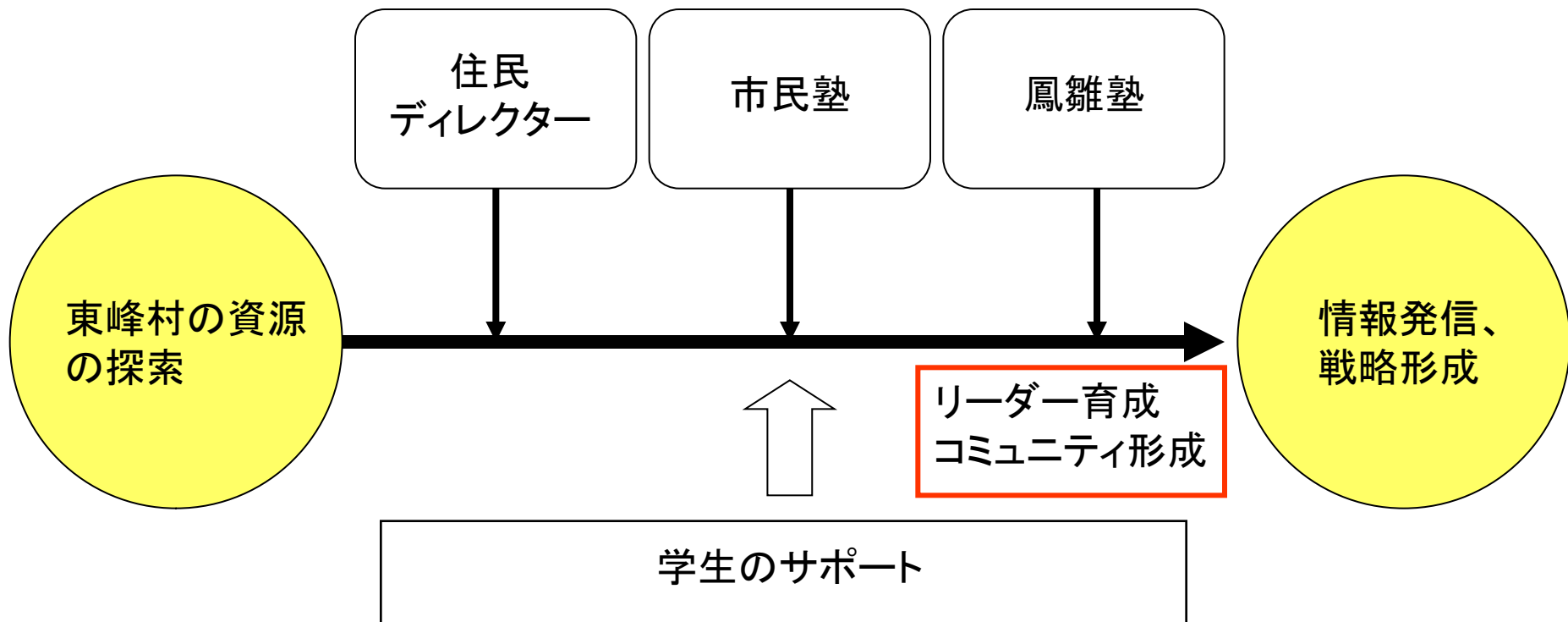


学生による支援





イメージ





東峰村元気プロジェクトの様子





最終報告会の感想

東峰村の良さというのは小さい村だからなかなかわかってもらえないと思うが、自分は太鼓をやっていて去年は東京へも行った。そういう趣味もよその地域に見てもらえたらいいと思う。先生もおっしゃられていたが、1、2年の短期ではなく、長く続けていけたらと思う。私も協力していきたい。

きらっと光った村になるためには、自分たちがきらっと光った村をつくっているんだという意識をもつことが重要なんだと思う。

今、福岡市内に住んでいる。故郷があるのはいいなと思う。今回のビデオ作品を見てすごいことをしているなどびっくりした。インフラが整っていないと、せっかくのもの(ビデオのコンテンツ)が村に留まってしまうので、道路や水道と同じくらいの重要さをもって、情報のインフラも進めていただければと思う。

長いこと行政にいて、今回ほど衝撃を受けたことはない。一言でいえば、住民が主人公であった。役場が裏方であった。東峰村に今までにない動きが出てくるのではないかと楽しみにしている。2ヶ月で何ができるのか心配だったが、逆に集中していい結果になったと思う。来年度からもじっくり進めてほしい。

住民ディレクターの講座に出た。講師の人のお話を聞いて、これは社会教育そのものではないかと思った。十名くらいの女性を誘ってみたが参加してもらえなかった。技術のほかにも大変いい話がきけたので、次回から一人でも多くの人を誘ってきたい。

(出所)「ITによる東峰村の活性化戦略研究会 報告書」pp.14-15。



成果

- 東峰村活性化をテーマとしたコンテンツの開発
 - とうほう村民塾（東峰村に関するネット講座開講）
 - 住民ディレクター（東峰村を紹介する映像制作）
- 慶應義塾150周年記念シンポジウムの開催
- 国際化（観光、特産物販売）への進化
 - 博士課程の大学院生の参加



一連の活動の中で、村民間に新しいつながりが形成され、まちづくりのリーダーが生まれ、村の方々の主体的活動が実現





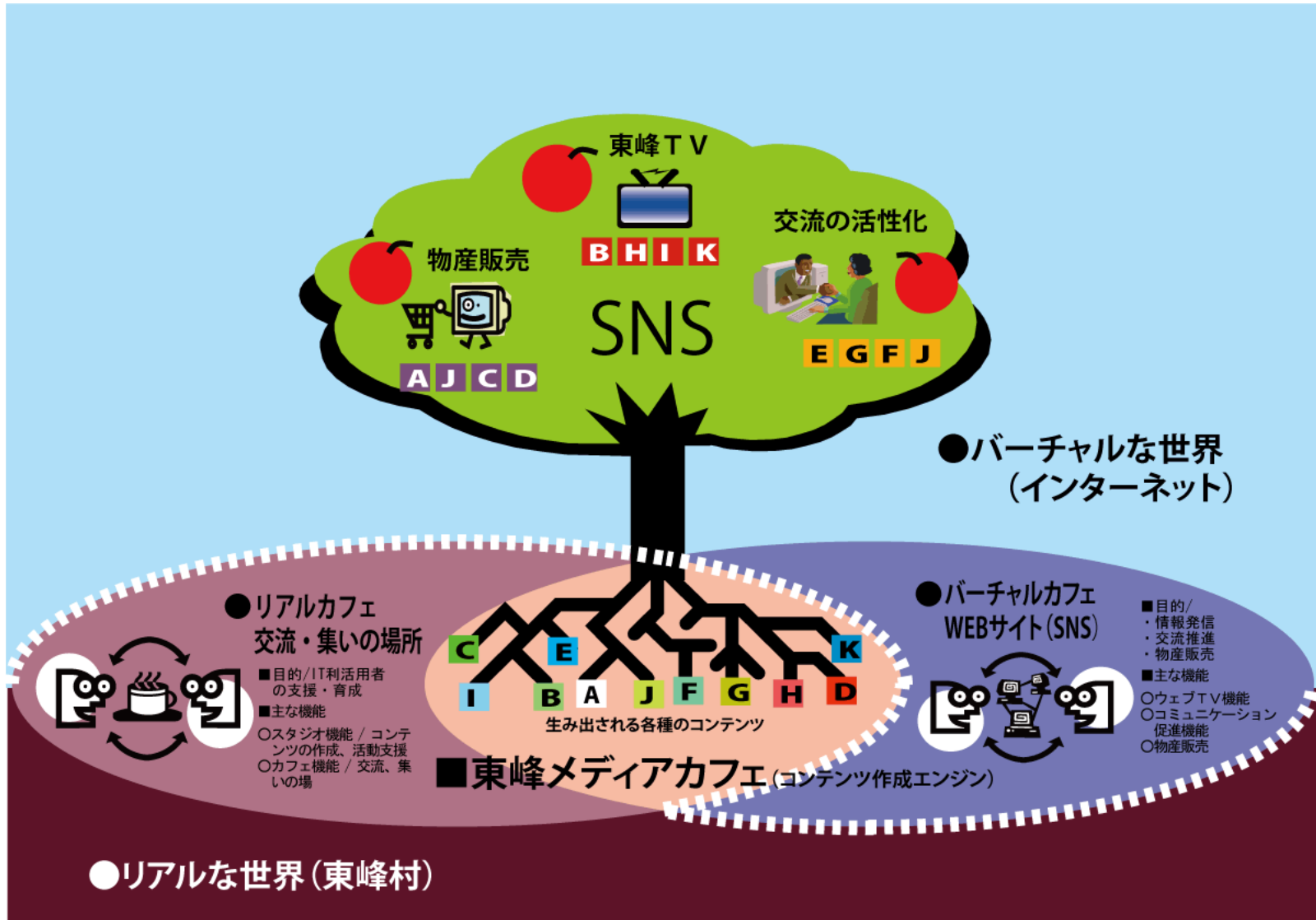
成果の紹介



(出所) 東峰さんみん塾の旧Webサイト<<http://cat-cat.jp/sonminjuk/top.html>>、
福岡県東峰村提供資料。



メディアカフェ構想の誕生



(出所) 東峰村提供資料。

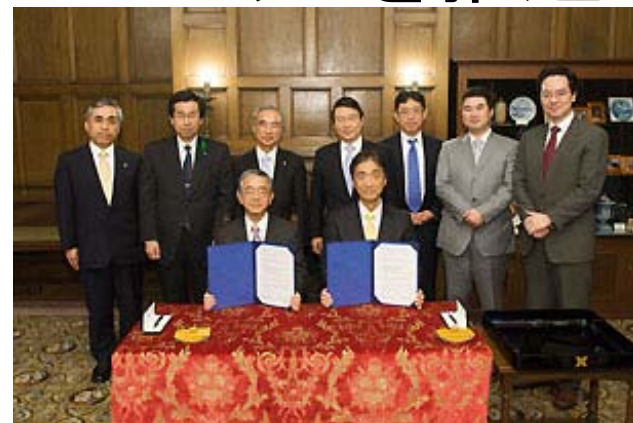


長崎県各地



プロジェクト概要

- 2009年4月、研究・教育活動の推進と地域振興に関する連携協力協定を締結
- 2009年度、長崎県が選出した各市町の地域振興企画(約4市町)を慶應義塾大学が担当
 - テーマは、農水産業の振興、観光戦略など
- 夏期休暇などを利用して研究プロジェクトを推進
 - 希望者を公募(大学院、学部)
 - 集中的な滞在を予定
 - 遠隔会議システムで交流を継続





活動の様子





1週間、本当にありがとうございました！
新上五島町が大好きです！
この感動を多くの人へ届けます！





学生たちの活躍

北馬 北馬 北馬 北馬 北馬 北馬 北馬 北馬 北馬 北馬

北馬 北馬 北馬 北馬 北馬 北馬 北馬 北馬 北馬 北馬

北馬 北馬 北馬 北馬 北馬 北馬 北馬 北馬 北馬 北馬

平戸支局 (0950-22-2667) 松浦支局 (0956-72-0539)
 江迎支局 (0956-65-2276) 松浦支局 (0959-72-2226)
 上五島支局 (0959-42-0324) 松浦支局 (0920-52-0859)
 老岐支局 (0920-47-0106)

地元高校生らが「住民ディレクター」となり、地域の風景や観光資源などを撮影、編集、配信する取り組みが21日、新上五島町有川郷であり、参加者が地域の魅力を再確認した。

住民ディレクターは、県上五島の魅力ネットが発信と慶応大が締結している「地域振興に関する連携協力協定」に基づき、昨年度末に、慶応大の学生らが新上五島町に提言した地域活性化策の一つ。

動画を撮影、編集すること、地元の良いを再認識してもらおうと、動画

ディレクターは住民

をインターネット上で配信することで、地域の魅力を広く発信する。地域活性化へ向けた人材を育成する狙いもある。

県立上五島高、同中五島高の学生と町ウェブサイトに「みっか」のユーザーなど計22人が参加。慶応大総合政策、環境情報両学部の学生らのアドバイスを受けながら、サンプル動画を使って編集作業をしたほか、五島うどんの里などの施設や町並みなどを撮影。カメラを片手に見慣れた町を歩きながら、新しい視点で地域の魅力を探っていた。

(宮本宗幸)

「住民ディレクター」になり、風景物を撮影する高校生ら

新上五島町有川郷、五島うどんの里





高知県各地



プロジェクト概要

■ 集落支援

- 飯盛義徳が高知県集落支援アドバイザーに就任

■ 農水産物のマーケティング、移住交流促進

- 本山町などでの農業リーダー育成活動

■ 学生参加型地域活性化

- 奈半利町での活動

- 人口：3783人
- 名産：サンゴ
- 歴史的町並み





農業リーダー育成の様子





奈半利町まちづくり合宿の様子





奈半利町の方々の感想

■ 外部の視点（一部）

- やはり**学生の視点は非常に新鮮**に感じました。
- **外の目からの見た町に対する分析、提案を頂き有り難う**ございました。
- **外部から見た若者の感性と視点**には感心した。

■ 実践の兆し

- 繭を使った**商品開発に取り組んで近い時期に地元で販売をしたい**と思います。
- すぐに研究室のメンバーにはお土産として発送、商品開発には**ずみがつきました**。
- いろいろ考えるより、**積極的に行動に移したい**と思います。





福岡県八女市



八女市での地域魅力発見





合宿による地域への政策提言

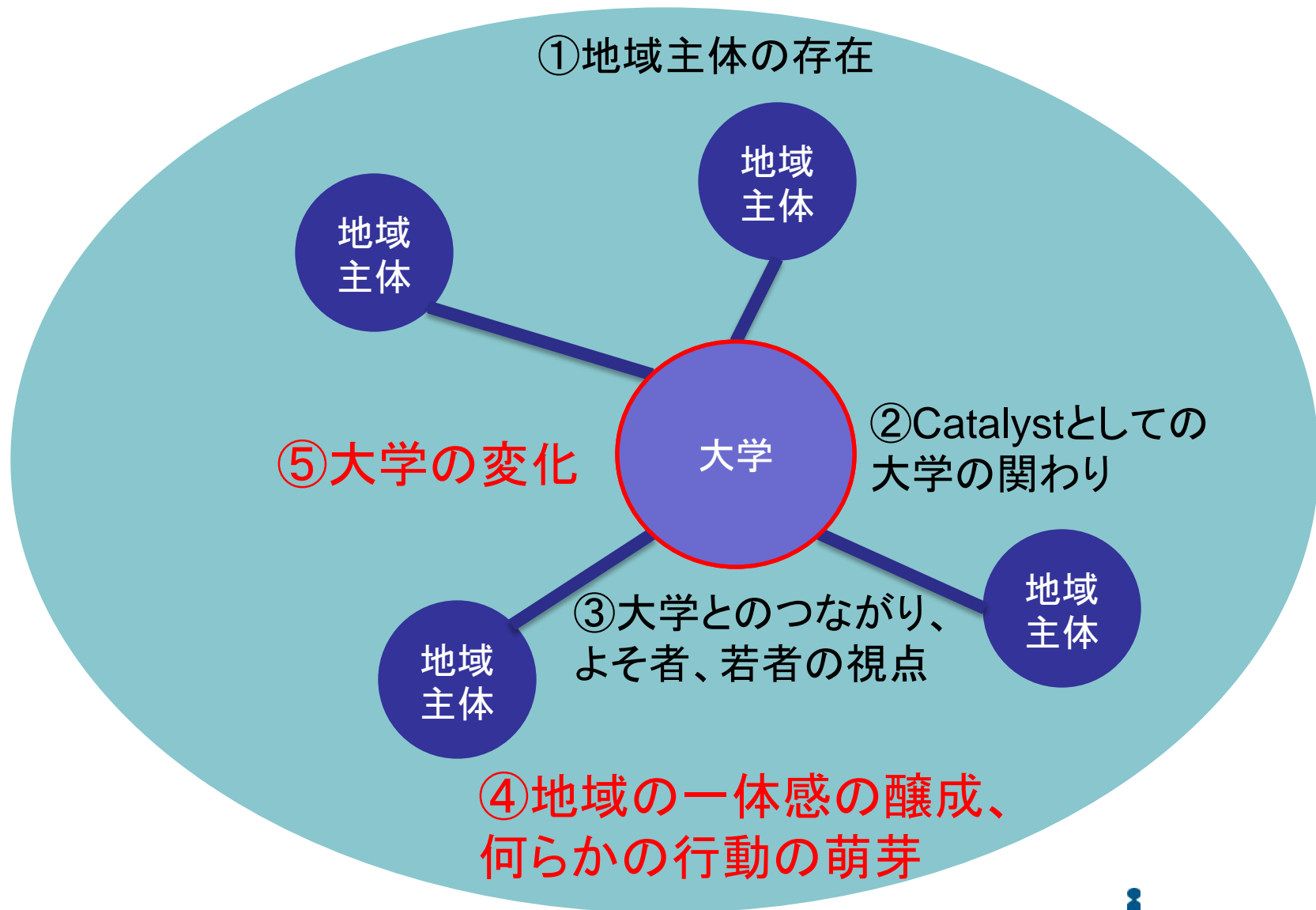




地域・大学連携の可能性



地域・大学連携のプロセス



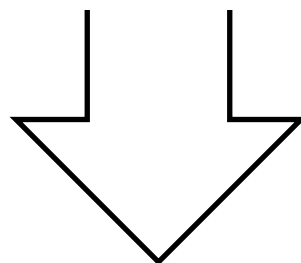


つながりの大切さ

従来までのつながり



大学、よそ者の関わりなど



地域内、地域外とのつながりの再構築

創発



つながりの種類と特性

ネットワーク特性	強み	コミュニケーション特性	有効なイノベーション
強連結・ 閉鎖的 ネットワーク	強い紐帯の強み	暗黙知、同質的情報の 深い共有に有効	漸進的イノベーション (incremental innovation)
弱連結・ 開放的 ネットワーク	弱い紐帯の強み	異質的、新規の情報 の流通に有効	ラジカルイノベーション (radical innovation)

(出所) 若林直樹(2002)「企業間取引と信頼—脱系列化の「新しい経済社会学」からの分析」、
佐伯啓思、松原隆一郎編著『新しい市場社会の構想—信頼と公正の経済社会像—』新世社、p.202。



資源の多様性

- 多義性、多重性
 - 境界のあいまいさ
- 多様性
 - 多種多様な主体
 - 方向性、意識など



資源となるべきもの
など認識も多様

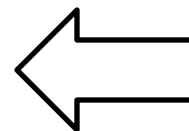
創り出すことも可能：NPO砂浜美術館の事例

(参考) 森岡清志(2008)『地域の社会学』有斐閣。

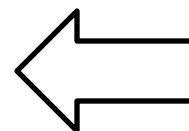


地域の資源化のプロセス

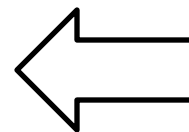
地域資源の認識



つながり形成、意味づけ



資源展開の戦略策定、実行



大学の資源の利活用





ひとつづくりの重要性

強制、命令の難しさ

継続的な活動

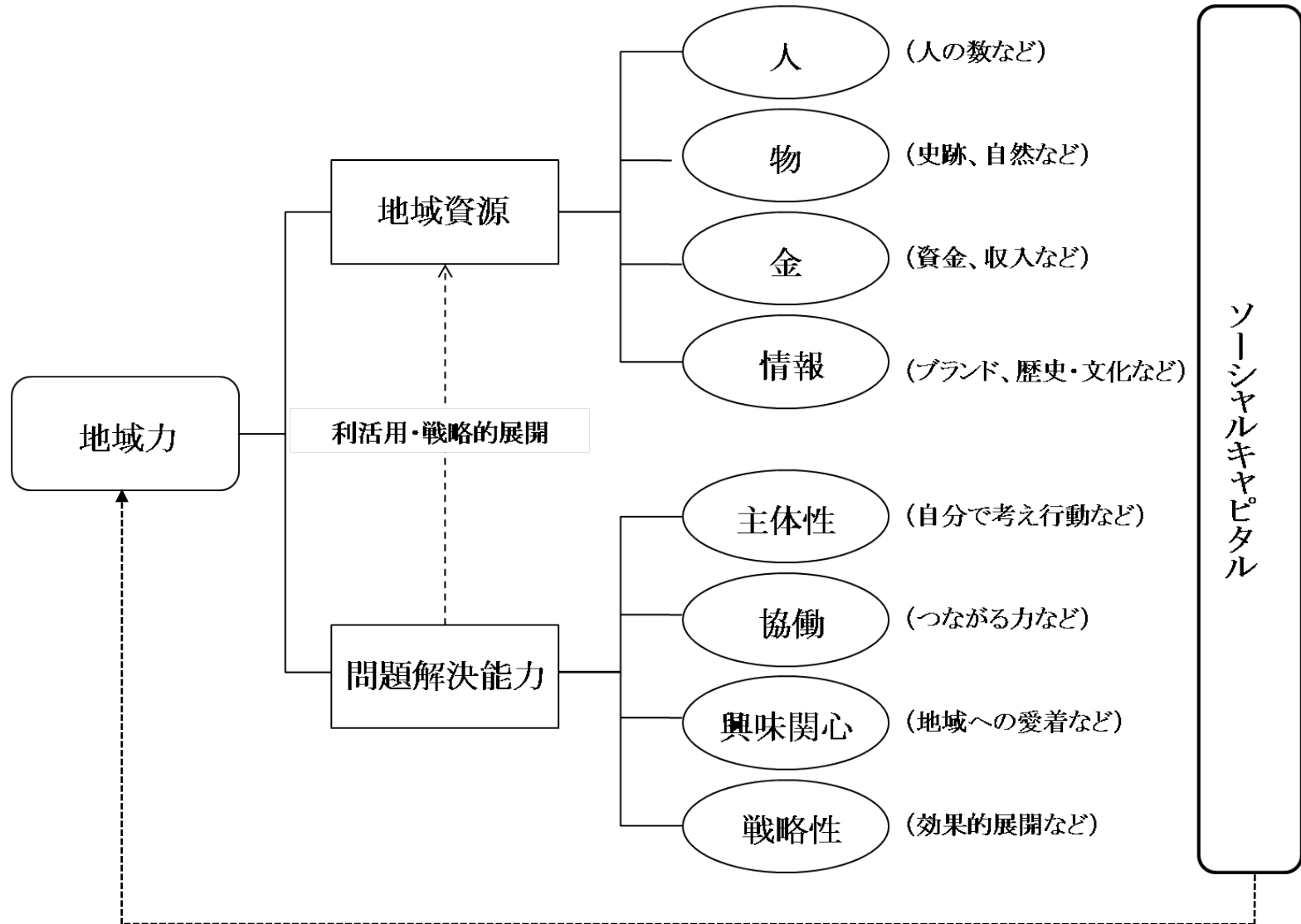
オープンリソース

高度なマネジメント能力

協働の場づくりを行う人材
(プラットフォームアーキテクト)の大切さ



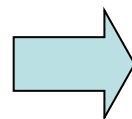
地域資源とひとづくり



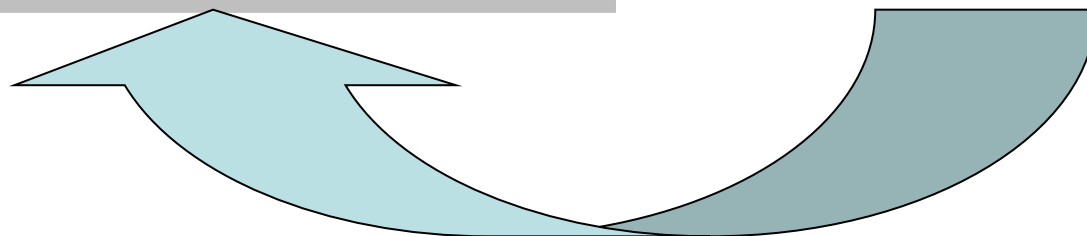


地域における信頼形成

資源の共有(もやい)



信頼



徹底的なオープン化

互酬などの社会的交換は信頼を形成する

資源に乏しい地域には有効



競争優位を築く企業のマネジメントとの違い

(出所) Blau, Peter, *Exchange and Power in Social Life*, John Wiley & Sons, 1964.





地域に果たす大学の役割

- 人材(プラットフォームアーキテクト)育成
- 新しい情報、知、技術の流入(よそ者の視点)
- 失敗を恐れない行動力のある若者の拠点

+

地域の資源

地域再生





課題と今後の展開



地域・大学連携の課題

■ インセンティブ設計

- 研究・教育方法の確立

■ 予算

- プロジェクト実践、研究予算の確保

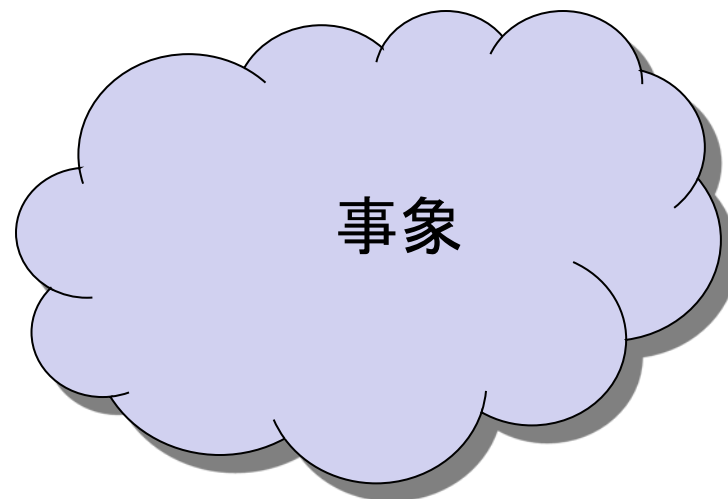
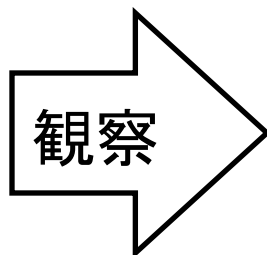
■ 地域の情報の共有

- 地域・大学連携主体へのアプローチ



研究と実践

★通常の研究



★実践型の研究





アクションリサーチの概要

■ 概要

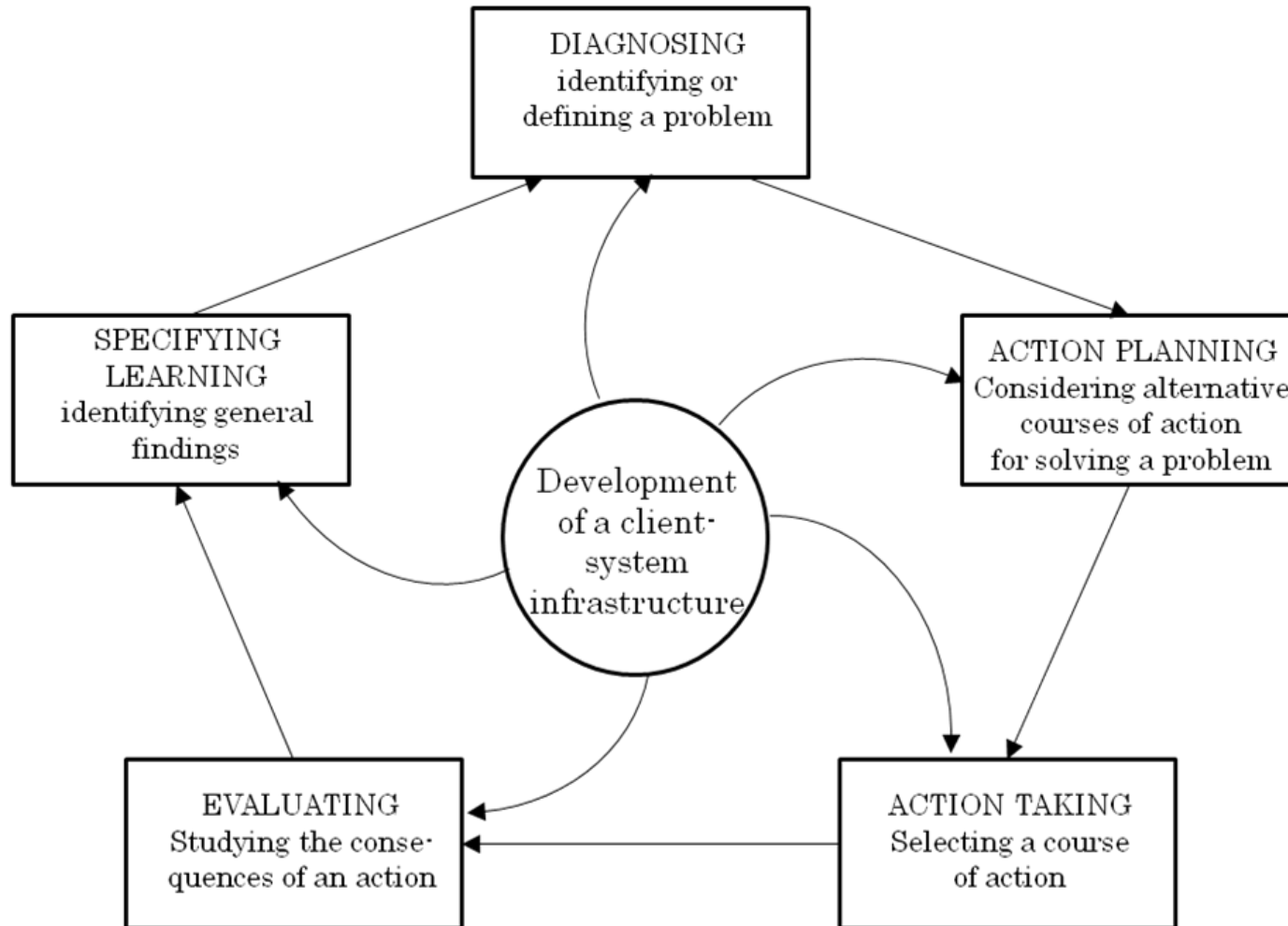
- 集団、組織、社会などで生じている問題を緊急に解決するとともに、その問題が生じている社会システムについての科学的な知見を得ることを目的に、実務家と研究者が共同で行う実践的研究

■ 特徴

- 研究と問題解決という2つの目標を最適に組み合わせ、ひとつのプロジェクトあるいは一連のプロジェクトにすること



問題解決のためのサイクル



(出所) Susman, Gerald I. and Roger D. Evered(1978) "An Assessment of the Scientific Merits of Action Research," *Administrative Science Quarterly*, Vol. 23, No. 4. (Dec., 1978), pp. 588.



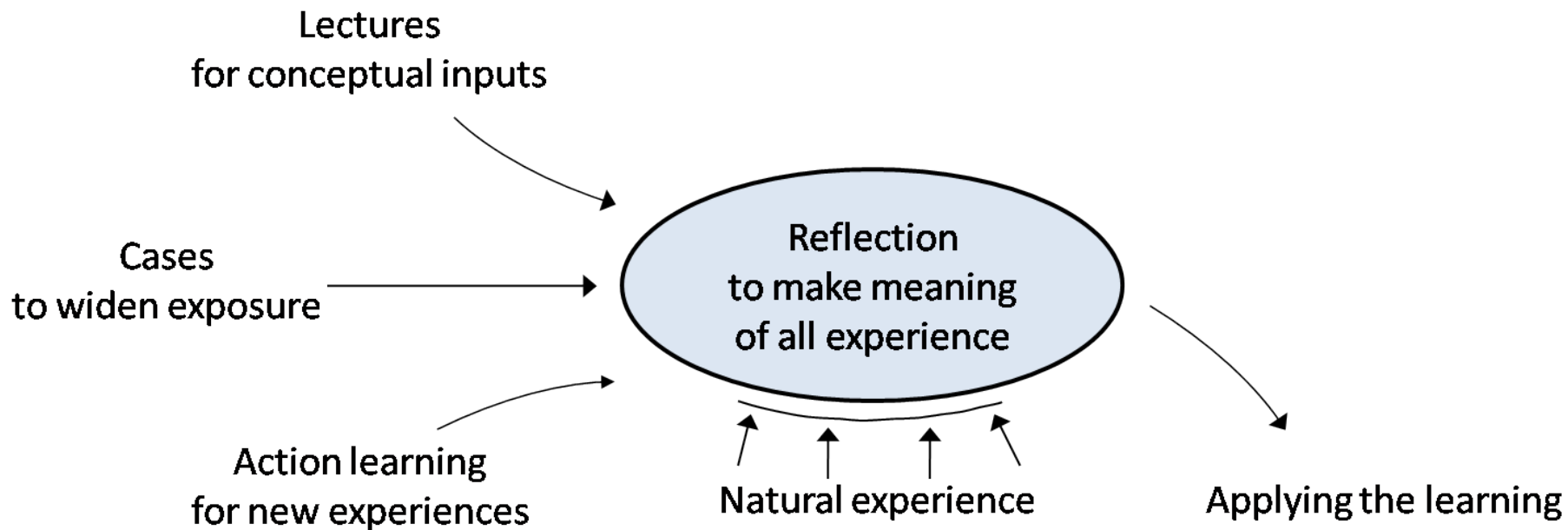
総合政策学の実践

- 問題発見・解決指向型の研究
- 従来の学問領域にとらわれない研究
- メディアないし情報通信技術の革新とその影響を強く意識した研究
- 結論において何らかの政策的ないし戦略的含意 (policy implication) を含む研究

(出所) 岡部光明編(2003)『総合政策学の最先端 I ー市場・リスク・持続可能性』慶應義塾大学出版会。



ブレンデッド・ラーニングモデル



(出所) Mintzberg, Henry(2004) *Managers Not MBAs A Hard Look at the Soft Practice of Managing and Management Development*, Berrett-Koehler Publishers, p.267.



飯盛義徳研究会のモデル

レクチャー

一般化された抽象的概念

問題発見・解決能力、行動力

ケースメソッド

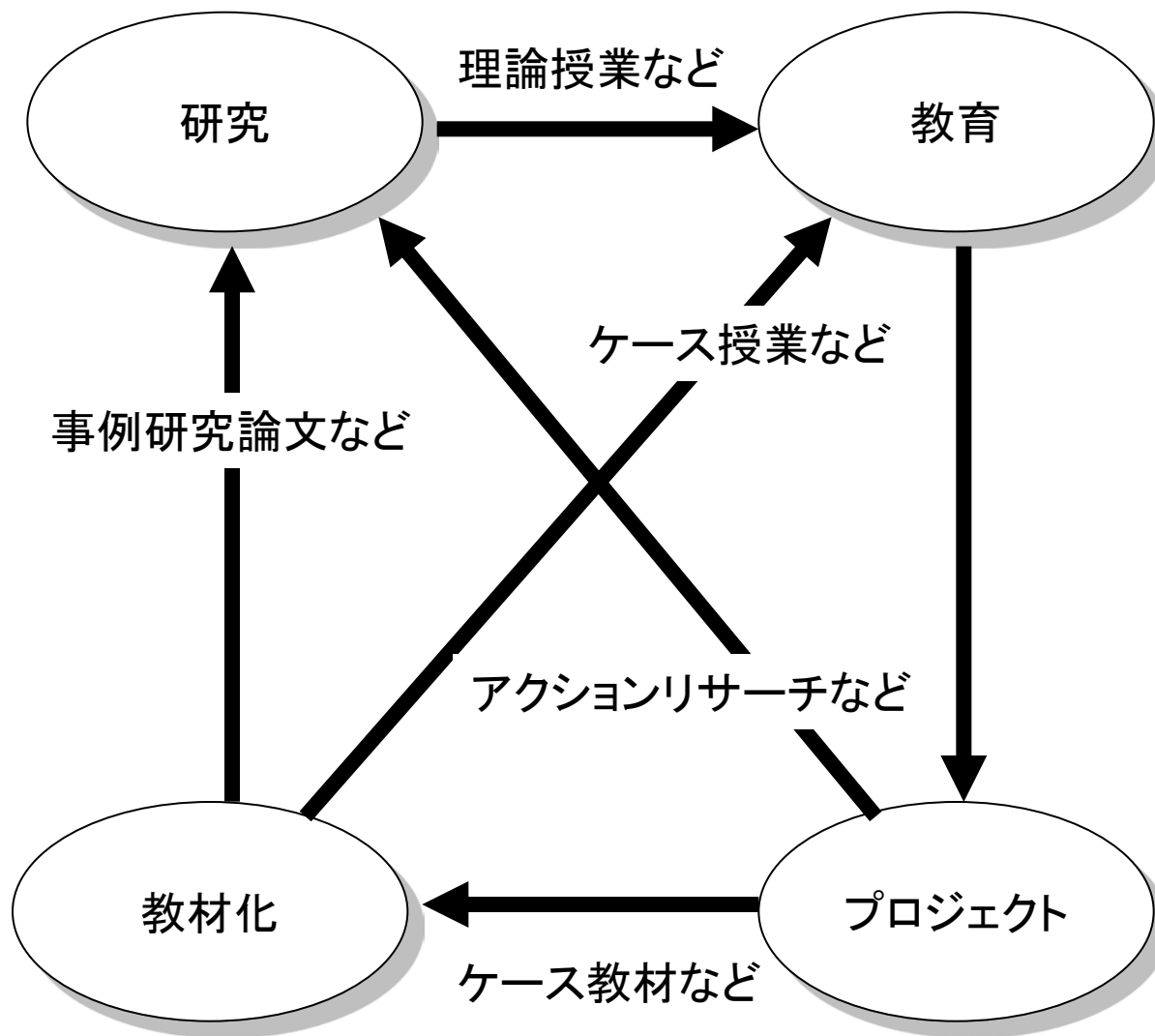
合宿形式
プロジェクト実践

地域での問題発見、解決、提言
(Project Based Learning)

プラットフォーム
アーキテクト



研究、教育、プロジェクトの相互作用





SFCから世界を元気に！

アーカイブ ✕ CLOSE

SFCから 世界を元気に！

「NPO鳥籠塾」や「東峰村元気プロジェクト」など、
人材育成の視点から地域の活性化を考える飯盛義徳准教授。
「まちづくりは、ひとづくり」と語る飯盛准教授に、
地域、そして日本を活性化させる取り組みについて聞いた。

総合政策学部 准教授
政策・メディア研究科委員

飯盛 義徳

ISAGAI, Yoshinori

SFCの革命者

> NEXT





ありがとうございました！
皆さま活躍を楽しみにしております！

